

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホームえやんばい

ユニット名 もんちきち

自己評価実施年月日 平成 19年 10月 1日

記録者氏名 谷 里加

記録年月日 平成 19年 10月 1日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	故郷訪問、馴染みの場所訪問を実施している。今後も続けて行き、よりいっそう充実したものにして行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	理念である、一人一人の対応について、よりいっそう掘り下げて話し合っ行って行き、皆さんが、幸せに暮らして行けるよう、今後も取り組んでゆきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	これからも、色々な場で、伝えられるよう、取り組んで行きたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	今後は、もっと多くそのような機会が持てるよう、取り組んで行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	納涼祭は、宿毛市でも有名なお祭りとなっており、多くの方が来てくれ、にぎやかに行われている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>ヘルパー実習、専門学校生の実習の受け入れを行っており、研修発表会での発表により、認知症ケアの啓発に努めている。</p>	○	今後も実習生の受け入れや、研修会での発表により、認知症ケアの啓発に努めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>外部評価の結果を踏まえ改善に向けての、具体案を職員全員で話し合い、解決にむけての取り組みをしている。</p>	○	外部評価の結果に基づき、改善すべき事は職員全員で、取り組んで行く。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>運営会議ではあらゆる立場の方々の意見等を聞かせてもらい、課題や問題解決の参考にさせてもらっている。</p>	○	これからも、色々な視点から、よいアドバイスをもらいながら、より良い施設になるよう、会議を活かして行きたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>市の担当者の方との連携は取れている、疑問な点は、相談したり、情報交換も出来ている。</p>	○	今後も関係を密にし、連携をとりながら、よりよい施設運営に努めたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>同法人全体の研修会で、権利擁護について学ぶ機会を設けている。</p>	○	毎年、権利擁護の研修会を開催しているため、今後も全ての職員が理解できるよう参加を促していく。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>身体拘束に対する、委員会はあるが、高齢者虐待防止関連法についての、勉強会は行っていない。</p>	○	職員会で、高齢者の虐待について、話し合いや勉強会をして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時契約書にそって、説明し同意を得ている、また、年一回更新するようにしている為、その際も必要に応じて説明をしている。	○	今後も利用者や家族の不安、疑問を取り除けるような説明に努めたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。介護相談員に相談できるよう、ポスター等での呼びかけを行っている。職員会でもひとり一人の思いを察するよう話し合っている。	○	一人一人の立場に立って対応できるよう、日ごろより、意見や要望が言いやすい環境を作る努力をする。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に季刊誌を発行し、担当者からのお便りも添えて送っている。	○	季刊誌はご家族の方も喜ばれるので、これからも沢山の情報を提供して行きたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が訪問時職員のほうより積極的に声掛けをするよう心がけている。ご家族が気軽に相談や苦情が言える環境作りに努めている。	○	これからは、ご家族同士で話し合える機会を設けてゆきたいと思います。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングは月に一回行い職員の要望や意見を聞くようにしているが不満や苦情は言い難い部分も多いので把握しきれていない可能性もある。	○	ミーティングで聞ききれていない部分は管理者やリーダーが個別に相談にのれるよう配慮していく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その日の行事や利用者の状態に合わせて柔軟な対応が出来るよう勤務の調整ができています。	○	引き続き柔軟な対応に向けた勤務態勢に努める。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には各ユニット職員固定化し顔なじみの職員によるケアを心がけている。異動や離職の場合もその時期や引継の面で配慮している。	○	新しい職員が入った場合、職員が一人つき新人マニュアルに従って勤務し利用者とも馴染みの関係が作れるような体制を今後も続けていく。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同法人である勉強会に多くの職員が参加できるよう心掛けている。外部の研修会にも出きるだけ参加できるようすすんで施設長に申し出ている。	○	施設内学習会や研修への参加名簿を作成し参加率の悪い職員へ個別に参加を促す。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会を開催し参加している。	○	今後の目標としては管理者だけでなく介護スタッフみんなが参加できるような連絡会にしていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	同法人での親睦会は年に何回か開催されているが勤務の都合上全員は参加できていない。以前は休憩時間がとれていなかったが、利用者を見守りしながらではあるが職員同士の休憩時間をもうけた。	○	交流会に出きるだけ参加出来るよう開催日時や時間を配慮していく。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者も行事には参加している。正職員と臨時職員との格差があり、臨時職員が資格を取得しても手当はつかない現状がある。	○	臨時職員でも資格を取れば正職員になれる可能性も出てくるので、資格取得に向けた声掛けや支援を引き続き行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族や転居前の施設、居宅の担当者から出来るだけ情報を得ている。	○	これからも本人や関係者からの情報収集や面談により安心して入居して頂けるよう努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	直接入居の相談へ見えた方に関しては事業所としてどのような対応が出来るか説明させてもらっているが、居宅の支援事業所や他施設からの入居の場合は十分な説明が出来ていないこともある。	○	居宅や他施設からの入居の場合もご家族と面談し十分な説明が出来るよう配慮する。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な相談者には可能な限り柔軟な対応を行い場合によっては居宅支援事業所などのサービスに繋げるなどの対応をしている。	○	今後も可能な限り柔軟な対応をしていく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談から入居までの間に納得を得ないまま入居される方もいるが、入居した後長い時間をかけゆっくりと馴染みの関係が築けるよう努めている。	○	入居後、自宅訪問や家族との交流を図る中で徐々に馴染めるような支援をしていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に家事仕事をしながら、利用者から学び、支え合う関係を築けるよう努めている。生活の場面場面で、利用者から教えてもらった知恵や、文化を取り入れている。	○	今後も利用者の方に教えてもらいながら、生活を共にしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会や自宅へ遊びに行った時など、情報を共有し、共に良い介護方法をみつけて行けるよう努めている。	○	これからも関係を密にし、利用者を共に支えて行けるよう支援していく。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ふるさと訪問や、面会時に家族と交流を深めれるよう、ゆっくり話せる場所や時間の提供をしている。	○	家族との交流の少ない家族を重点的に、よりよい関係づくりができるよう職員側から積極的にアプローチしていく。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所訪問により、地域に暮らす馴染みの知人・友人・親戚等の家に遊びに行ったり、継続的な交流ができるよう働きかけている。	○	今後も継続的な交流が図れるよう、馴染みの場所訪問をしていく。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係がうまくいくように、テーブルやソファの配置替えをして気の合う者同士で過ごせる場面づくりをしている。不穏の利用者に対しては、個別対応をし、他の利用者もその事に対して不穏にならないよう配慮している。	○	利用者同士の関係が円滑になるよう、利用者の性格などを知り職員が潤滑油になるようにする。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	元気で退所され、自宅復帰された方とは手紙を送ったりして交流を図っている。	○	今後も手紙のやりとりを継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ把握に努めている。言葉や表情などから、思いや意向を察し、会話が困難な方には、家族より情報を得るようにしている。	○ ケアプラン作成時に、本人に希望等を聞いているが、なかなかそのときには、言ってもらえないので、日々の行動や、会話から、察しくみ取り把握に努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自身の語りや、家族訪問時、自宅に帰ったとき等少しずつ把握に努めている。	○ 以前記入していた個別ケア表が最近滞っている為、得た情報は記入し情報の共有が出来るよう職員に徹底する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケアプラン作成時など、出来ない事より、今できている事をのばして行けるようなプラン作成に努めている。	○ 今後も一人一人の方が出来ている事をのばして行けるよう、支援して行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き反映させるようにしている。職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。	○ 今後ご家族、ご本人の意向を聞きながら、職員全員で話し合いながら、介護計画を作成して行く。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態が変化した際は期限前でも、計画の見直しを行っている。家族の要望や、ケアカンファレンスの際出た意見によって計画の見直しがされている。	○ 月に一度は状況の確認を職員全員で行っているが、それに加え最新の気づき、ケアのアイデアを集めてそのとき時の状態に合った介護計画を作成してゆきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケア記録に記載し、食事、水分量、排泄、入浴等身体的状況及び日々の暮らしの様子や、本人の言葉エピソード等を記録している。勤務開始前確認を義務づけており、共通認識の上でケアに当たっている。	○	記録物に記入もれがないよう徹底し、今後もケアに役立てたい。
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応している。	○	一人一人の満足を高められるように、本人や家族の状況に応じて、必要な支援を柔軟に行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の学校の生徒さんが時々訪問してくれ、交流をはかっており、学校行事の案内もしてくれ参加させてもらっている。	○	今後も地域の方々の協力を得ながら、交流を深めて行きたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の敬老会に参加したり、移動美術館へ行き地域の方に車椅子介助等の協力をしてもらい参加することが出来た。	○	これからも地域の方にこちらから協力を求め地域との関わりを大切にしたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加しており周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。	○	今後も地域包括支援センターと協力していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> <p>同敷地内の協力病院への受診は家族と相談しながら職員が通院介助している。他の医療機関への受診時には必要な場合は職員も同行している。</p>	○	今後もご家族の方の希望を聞き必要な医療機関への受診を支援していく。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> <p>協力病院の医師やグループホームの看護師の指示により専門医への受診、往診依頼が出来ている。</p>	○	今後も専門医の協力を得ながら適切な治療が受けられるよう支援していく。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> <p>看護職員を配置しており常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。</p>	○	看護職員を配置している。今後も日常の健康管理や協力医療機関との連携を図っていく。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し頻繁に職員が見舞うようにしている。家族とも情報交換しながら快復状況等速やかな退院支援に結びつけている。</p>	○	家族とも情報交換しながら速やかな退院支援に結びつけていく。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>入所時に重度化に対する説明をしている。以前、実際に終末期を迎えた方がおり家族、医師、看護師を交話し合いをもち穏やかに看取る事ができ、家族の方にも感謝していただいた。</p>	○	今後は重度化、終末期に対する意志の確認書を作成したい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>本人や家族の意向を踏まえ医師、職員が連携をとり、安心して最期を迎えられるように随時、意志を確認しながら取り組んでいる。</p>	○	医療との連携を密にし急変に対応出来るような体制作りを強化したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加しており周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。	○	移行先への個別情報の伝達など、プライバシーに配慮しながら行っていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会議の時に、プライバシーに配慮したケアを心掛けるよう話はしているが、時々利用者の事をみんなの前で話題にしたり誇りを傷つけてしまうような言動が気になる。	○	職員教育の徹底により気配りの出来る職員の育成に努める。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入浴や行事参加など、利用者が自己決定出来る場もあるが、職員が勝手に判断してしまっている事もある。	○	意思表示が困難な方に対しても気長に聞き、自己決定が出来るような場面作りをしていく。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	不穏状態になった時は気晴らしに外出したり、買い物や散歩など一人一人の思いに配慮しながら柔軟に対応している。	○	職員数が少ないときや気候が適さないときは希望に添っての支援が不十分なので、そんな時の対応も検討していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	施設内に、美容師の資格を持っている職員がおり身だしなみは整っているが、馴染みの理美容院で希望に合わせたカットや毛染めをしてもらう事も大切ではないかと思う。	○	本人・家族の意向を聞きながら、行きつけだった理美容院で希望に合わせた毛染めやカットが出来るよう連携をとっていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時々ではあるが、広告などを見て食べたい物を聞き、メニューに反映している。重度化により、提供する食事が刻みや極刻みが多くなり、それに合わせた調理法が必要となったこともあり、一緒に調理する場面が減少した。	○	職員全員が同じメニューと一緒に食べ楽しい雰囲気です。食事は出来ているので、続けて行き、出来るだけ調理、食材選びも、一緒にできるよう工夫してゆきたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	10時のコーヒータイムには一人一人の嗜好物に合わせた飲み物を提供している。	○	意志表示出来ない方等特に気を配り、嗜好にあったものの提供が出来るようご家族などに聞きながら参考にしてゆきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄が維持できるよう、本人の状態に合わせてトイレ誘導や、オムツ（尿取りパットや紙パンツ）使用軽減に努めている。	○	現在オムツ外しに取り組んでおり、誘導によりトイレで排泄できるよう一層取り組んでいきたい
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日行っており、職員が一方的に決めず、利用者のその日の希望を確認し入浴してもらっている。入浴を拒む利用者に対しては、言葉がけや誘い方を工夫し一人一人に合わせた入浴支援をしている。	○	今後も利用者の希望を聞き入れ、柔軟に対応して行きたい。」
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	外出や買い物に行ったり、創作活動や昔遊びをして日中の活動時間を増やせるよう支援している。無理に就寝を促すのではなく、寝付けないときには一緒にテレビを観たり、お茶を飲んだり等配慮している。	○	日中活動の工夫をし生活リズムを整えるよう取り組んで行きたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の生活歴や能力を活かした役割や楽しみ事、気晴らしの支援が出来ている。洗濯畳みが得意な方、食器洗いが得意な方等それぞれの得意分野に合わせた活動の場を提供している。	○	レベル低下が進む中、いかにみなさんに力を発揮していただけるかが今後の課題です。活躍の場を沢山設けて行きたい。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	○	<p>買い物等外に出てお金を使う機会を沢山設けて行きたい。</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	<p>重度の方も体調を見ながら外に出る機会を持てるよう取組んで行きたい。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>限られた方だけでなく、どの利用者に対しても希望を聞き対応して行くよう柔軟に勤務体制を整える。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>電話や手紙等、家庭生活と同じように、遠慮なくできるよう配慮してゆきたい。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	○	<p>ご家族等面会の方に気を使わず事のないよう気を配りながら、ゆっくり一緒に過ごして頂けるよう配慮して行きたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>短期間であった為、拘束の記録を取っていなかったため、書類の準備をしきちんと残して行くようにしたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>今後も鍵をかけず自由な生活の支援をしていきたい。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>利用者さんが安全で安心して暮らせるよう、プライバシーに配慮をしながら取り組んで行く。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>管理が必要な物の管理を続けてやっていきたい。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>報告書の対策案を生かし事故を最小限に出来るよう全職員が同じ意識で取り組んで行く。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>講習したことが生かせるよう日頃から繰り返し練習してゆく時間を設ける。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>火災時の訓練は十分出来ているが、地震等自然災害の訓練があまり出来ていない為、取り組んでゆく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	○	利用者全員のご家族に季刊誌等を利用して、身体抑制の弊害らを伝えてゆくようにしたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	○	看護師配置により医療連携が保っている。
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	○	不明な点は看護師に聞きながら薬の目的や副作用等全職員が把握できるよう取り組んで行く。
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	食生活での配慮は出来ているので、運動面で自然排便ができるよう職員会で話し合いながら個々に合わせた対応をしてゆく。
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	○	声かけのみで自立で歯磨きしている方に対しても確認して行けるようにする。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	栄養面での工夫はこれまで通り取り組んで行き、今後は水分摂取量の少ない摂取困難な方の対応に重点を置いて取り組んで行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	同法人内の職員と共に感染症予防対策委員会を立ち上げており、力を入れて取り組んでいる。マニュアルも作成し、日々の掃除等でも、予防に努めている。	○	感染症委員を中心に勉強会などを開き今後も予防に努めたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	スポンジ、布きん、包丁等毎食後煮沸消毒し、まな板は漂白している。定期的に冷蔵庫の消毒、残り物のチェックもしている。手洗いを徹底しペーパータオルを使用している。	○	この体制を維持し管理の徹底をして行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に手作りの表札を掛けたり、プランタンに花を植え、ベンチを置き違和感や圧迫感がないよう配慮している。	○	利用者や家族の意見も取り入れながら工夫をして行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の行事、慣しを利用者の方の意見を参考に行なっている。レク、装飾委員があり入居者さんと一緒に季節に応じた飾り付けをしている。	○	安らぎのある空間作りに努めたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの場所、家具の配置の工夫をし、仲の良い方同士が一緒にくつろげるよう配慮している。	○	一人一人の状態を見ながら、必要に応じて配置を換える等し柔軟に対応して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居の際には、使い慣れた馴染みの家具等を持 ってきてもらうよう声かけしている。お仏壇を持 って来ている方もおり、カーテンの色も全室違 うものになっている。	○	利用者によっては、殆ど家具もなく、衣装ケ ースのみの方もおられ、ご家族には呼びかけも 行なっているが、改善されていない方もいる ので、今後も呼びかけてゆきながら居心地の 良い居室づくりを一緒に行なってゆきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	寒い季節、暑い季節は換気が不十分で、朝 や掃除の時にしか窓を開けていない。トイレ は窓を開け換気しているが消臭剤に頼って いる面がある。	○	排泄介助の見直し等で尿臭を無くしたり、 根本から改善出来ることから取り組んで 行き、食後窓を開ける等取り決めを作 りたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	一人一人の状態に合わせて、トイレの 手すりを設置したり、トイレでは、排 泄介助困難な方には、ポータブル トイレの準備をしたりして、機能 にあわせ工夫している。	○	現在個人に合わせた椅子の検討をして いるが、なかなか良い椅子が 見つからなかったり、予算の 事もあるので、計画で止ま っている、実行出来るよ うにしたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせる ように工夫している	状態に合わせてトイレにのれんや 張り紙を貼り、分かりやすいよ う工夫をしている。	○	個人個人の状態に合わせて、都 度職員間で話し合いを持ち、 分かる力を活かせるよう支 援したい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活 かしている	自分で洗濯干しが出来る方の居室 のベランダには干し場を作り、自 分で出来るようにしている。玄 関前のベンチには、入居者が座 って外を眺めたりしている。	○	以前お百姓さんに借りて作って いた畑は、大きすぎて管理が 困難になり返してしまった為、 現在は畑仕事が出来ていない ので、少しでも野菜等が作 れるよう工夫して行きたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

馴染みの場所や自宅訪問を支援している。その方を知るきっかけ作りや、自宅に帰る事により精神的に安定し、グループホームでの生活をより安心出来る物にして行ければと思っています。行事や慣わし事を大切にしており、料理やメッセージカード、個別に誕生日のお祝いのため外食をしたり工夫している。